

# 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

## “黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)  
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階  
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546  
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

### 保子の窓

1月24日(日)松戸市福島県人会新年会にお招きをいただきました。

坂内会長・新田副会長のご配慮で3月11日の新宿ともい in 松戸の紹介とチラシを会員の皆様にお願ひできました。福島県東京事務所長高荒昌展様にもお目にかかりました。

うれしいことに、松戸市和太鼓連盟の小泉毅様とお話する機会があり、和太鼓の公演にお誘ひを受けました。その後佐藤利雄さんを紹介しました。

～和太鼓公演～

日時:3月13日(日)13時開演

会場:森のホール21 (小ホール)

小物の販売も予定しています。

1月21日(木)復興庁被災者支援コーディネイト事業「心の復興」フォーラム in 仙台に参加しました。

復興庁牛島授公参事官の心の復興事業、28年度予算決定の内容などの説明を頂きました。

「被災者支援 50の対策」をこれからしっかり読み込みます。元明石市職員高田啓三氏・仙台白百合女子大学教授大坂純氏の講演もありました。

その後、助成を受けた団体の事例発表。最後に交流会がありました。

「これからは、日々の暮らしを取り戻すことが心の復興につながる。言葉では易しいが覚悟を決めて行うことが要求される。」などの講演でした。交流会に参加して、今後の活動に力を借りられる団体との出会いがありました。1日をかけて参加して良い内容でした。また、後日、復興庁に伺うことも参事官に確約できたことも良い成果です。

プレゼンの中で、福島大学学生が仮設住宅に住みご近所付き合いの「いるだけ支援」の事業が特に古宮の心を揺さぶるものでした。

3.11 私たちは忘れない  
東日本大震災被災者支援  
大うたごえ喫茶

新宿ともい in 松戸 松戸うたごえ喫茶17周年

◆日時 3月11日(金) 13:00開演 15:30終演 [開場12:30]

◆入場料 前売 1500円 当日 2000円  
入場料の内500円は、被災者支援に使わせていただきます。

◆会場 松戸市民会館 常磐線松戸駅 東口徒歩5分  
(TEL:047-368-1237)

◆お問い合わせ先  
新築り守の申し込み社 金本 090-9248-8327  
事務 090-4418-3680  
平本 090-4453-9546  
松戸市教育委員会 047-710-5519  
古宮 090-9963-8980  
運営 090-6027-8828  
事務局 047-710-5519

主催:松戸うたごえ喫茶 代表 金本光弘 / 東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト 代表 古宮保子  
後援:松戸市教育委員会 / サンホーム株式会社 / NPO法人まつどNPO協議会

岩手県から避難している皆様へ 参加者募集

岩手県避難者交流会

日時:2月9日(火)午前11時  
場所:松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」  
参加費:無料

東京・埼玉・千葉在住の  
岩手県から避難している皆様  
ご来訪をお待ちしています  
お昼は、近くでワンコイン弁当(500円)購入できます

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ  
松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣にもあります)

岩手県復興局生活再建課職員も来訪

松戸・東北交流プロジェクトとは  
1.交流サロンの運営  
「黄色いハンカチ」  
・東北3県の避難者同士の交流の場  
・避難者と市民の交流の場  
・情報提供の場  
2.指旗事業  
3.イベント事業  
4.他の支援団体との交流  
5.行役つながり

お問い合わせ先:申し込み  
東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト  
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル2階  
電話 047-710-5519 FAX047-710-5546(月・水・木(10時~16時))  
古宮 090-9963-8980

1月24日(日)松戸市福島県人会主催の新年会(会場:松戸ラドン温泉)に参加しました。福島県人会との交流会は震災直後から続いています。今回は、新しい仲間を誘いました。松戸祭りにも参加しています。4月にはお花見会もあります。皆さん誘ひ合って参加しましょう。

### 利雄が行く File 3



その他詳しい、イベントの様子はブログに掲載しています。→→→<http://blogs.yahoo.co.jp/yellowyellow1834> です。

### 避難者の体験記

## 連載!私はあの時こうだった 岩崎弘子さん (福島県浪江町)

3月11日14時46分、私は双葉町の施設プールから出て、帰り支度の最中、震度6強の長い揺れ、立ってられない状態でプールの水がロッカー迄押し寄せた。  
外を見ると道路、駐車場があちこちで地割れ、起伏状態、心臓が止まりそうになった。  
いつもなら10分足らずで帰れる所、濡れる手でハンドルを握り余震の続く中、一時間以上かかりようやく家に着き家族の無事を確認安堵した。ライフラインがすべて止まり不安のまま朝を迎えた。12日、朝防災無線から原発事故の為、ただちに避難する様にとの事。  
着の身、着のまま無我夢中で車に乗り途中車の渋滞、反対車線には町に向かう自衛隊の車の列、すごい光景、これは大きな事が起きている、その時初めて事の重大さを知りました。

それから皆さんにお世話になり避難先5ヶ所経て現在松戸に居住して4年半が経ち、主人が退職してリフォームした家も年々傷み、植木、草は伸び放題ゆっくり家に戻る状態ではありません。一時帰宅しても防護服、胸には線量計を下げての家の作業、窓も開けられない状態帰れるものなら帰りたいと何度思った事か。いつか故郷の空の下で胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいその日が来る事を願いつつ今は松戸の皆さんの暖かいご支援を頂き前を向いて生活して行きたいと思っています。

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか?自分自身に問いかけして頂けたら幸いです。

# みんなの広場

## 「千葉に来て五年目の秋」

南相馬市 60代 女性

二本松の空が本当の空だと智恵子は言った。松戸市内で「空あります。」の看板を見た。

どんな空？福島とはやっぱり違う。家というより四角いビルが建ち並び、その隙間から見える空は、パズルのピースのようにギザギザの形だ。すっきりと澄んだ青さでもない。もう一度看板に目をやると「一時間100円1ヶ月5000円」………。駐車場に空ありだったのか。安達太良山にもうじき雪が降るだろう。晴れ渡った空にどんなにか美しく映えるだろうなあ。千葉に来て五年目の秋のことだった。

## 「正しくは強制自主避難」

いわき市 50代 男性

日本国民のどれだけの人が自主避難についての認識があるのか疑問です。命を脅かす原発汚染を逃れ、選択支もないまま、自分や家族の身を守る為避難してきたのに何故、自主避難なんていう言い方をされるのだろう。これはまぎれもなく正しくは強制自主避難といってもらいたい。20k、30kの線引きだって強制で決め、5年目を迎えてもまだまだ進まない現実ばかり、歳月の流れで覆いかぶせようとしている魂胆ありありなのに。

## 「一生の友達」

富岡町 70代 女性

ふるさと富岡町を離れ、避難先で故郷の友達がどうして「黄色いハンカチ」を知っていたの？と聞かれ、避難してすぐの頃、支援して下さる市民の皆様が企画した「松戸宿めぐり・矢切の渡し」ツアーがあり参加した。そのご縁で素晴らしい一生の友達を得られたので今思うともし、あの時参加していなかったら今の自分はないしどうなっていたかもわからない。原発事故で大変な状況に置かれたけど、本当にここサロンでは皆と心から楽しむことができる。不安悩みは尽きないけどこれからもみんなと一緒に分かちあって生きていきたい。

「年賀状を書こうとして」松戸市 60代 女性  
年末、年賀状を書こうとしてあの年の暮れを思い出した。大震災のあった年はどうしても“おめでとう”という言葉が書けなかった。月日が流れただけの事である。ただ「新しい年が明けました」とだけ書きあめ情景、人々のことを思った。今年も又新しい年が始まる。一つ々が少しずつ少しでも前に進み、遅々として進まない復興に拍車が掛かることを祈ります。

## 「私たちは棄民か？」

松戸市 60代 女性

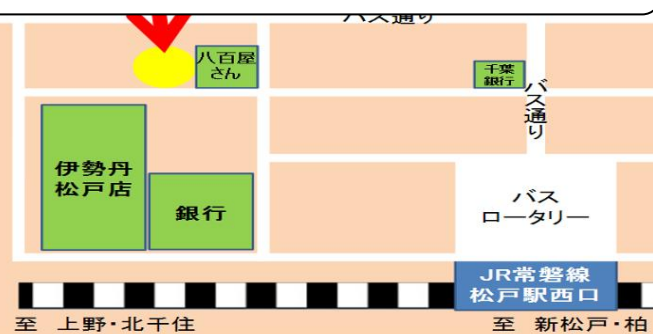
みんなの広場で見た記事の中で私たちは棄民か？という言葉に遠く記憶の彼方にあつた想いが蘇りそれは満州での出来事。日本人に対する日本政府がとつた政策と同じであると感じもう二度と同じ思いをさせてはいけない。金輪際、終わりにして欲しいという切なる気持ちです。

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちや和らぎ心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らしで感じた想い、不安や不満、本音なんでもOKです。匿名で結構ですので是非お便り下さい。又、質問などありましたら、内容によっては専門家におつなぎします。市民の投稿もお待ちしております。

(FAX、メール、お葉書、手紙にて受付中)

### 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ

松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2Fです。)



### 故郷のお正月で思うこと 利用者の会葉の花代表 信濃勇三

宮城県から避難をしています。

皆さんは年末年始どうお過ごしでしたでしょうか？私は娘夫婦のいる宮城県仙台市青葉区に帰省し、孫と楽しい正月を過ごしました。私の家も青葉区にありましたが、震災の影響で半壊になり、住めなくなったので松戸に避難してきました。1年振りに近所の方にも会うことができました。

仙台の正月といえば初売りやお隣の町の塩竈神社の初詣。また、1月15日に大崎八幡宮でおこなわれる「どんと祭」と裸参りが有名です。震災から5年を経過しようとしています。仙台市は震災前の賑わいがありますが、仙台市街地を一步出れば、復興には遠いと思う機会になりました。

### 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」2月の予定

毎週火水木 10時～16時オープン中。利用は1回100円です。

2月2日(火) 歌の日 皆で楽しく歌いましょう

担当:前田洋子さん

2月9日(火) 11時～ 岩手県避難者交流会

岩手県職員来訪 岩手県相談デーとします

就職・税金・介護・～どんなことでも～ 相談員:古宮保子

2月10日・24日(水) 13時30分～

初めての囲碁教室～一から教えます～

市民ボランティア講師:今田靖雄さん

2月16日(火) 13時30分～手芸の日

端切れで作る万能ポーチ(1月から引き続き)

担当:戸丸栄子さん

2月18日(木) 13時30分～ カラー講座

もっとお酒落におしゃべり会

講師: NPO 四季彩倶楽部 山川やえ子さん

2月23日(火) 自主避難者交流の日

～語り合おう私たちのこれから～

2月25日(木) ママカフェ

### 3月の予定

3月5日(土) 南相馬市避難者交流会

南相馬市の職員を交えての交流会をします。

3月10日(木) 東日本大震災復興法要

今年もお坊さんが来訪し、1日早い法要をします。

※3月3日(木)は午前のみオープンします。

午後はサロンミーティングを行います。